

令和7年度インターネットアンケート調査結果
調査テーマ【札幌市における犯罪のない安全で安心なまちづくり
について】

■ 調査期間 : 令和7年(2025年)7月3日(木曜日)～7月8日(火曜日)
 ■ 調査方法 : インターネット(クローズ型)
 ■ 設問数 : 全35問
 ■ 調査対象者 : 15歳以上の札幌市民 500人(男性:250人 女性:250人)
 年齢別内訳 29歳以下:50人 30代:100人 40代:100人

防犯意識についてお聞きします。

Q1. あなたは、札幌市が、「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」だと思いますか。

	回答数(n)	割合(%)
1 そう思う	36	7.2
2 どちらかといえばそう思う	198	39.6
3 どちらとも言えない	169	33.8
4 あまりそう思わない	75	15.0
5 そう思わない	22	4.4
全体	500	100.0

《Q1で「あまりそう思わない」、「そう思わない」と回答した方にお聞きします。》

Q2. あなたが「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」ではないと思った理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数(n)	割合(%)
1 札幌市内の犯罪が増えていると感じているから	59	31.4
2 自分や自分の身近で犯罪被害があったから	8	4.3
3 ニュース等の報道で、札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから	53	28.2
4 町内会の回覧板や警察からの警報メールなど、地域で発生した犯罪を頻繁に見るから	14	7.4
5 地域のつながりが希薄で周りに無関心となっており、安心できないから	15	8.0
6 暗い住宅街など、安心できる環境ではないから	20	10.6

7	特に明確な理由は無いが、犯罪に遭う不安を感じているから	17	9.0
8	その他	2	1.1
	全体	188	100

Q3. あなたは、自ら犯罪に遭わないよう、出かけるときには短時間でも施錠したり、明るい道を歩くなど、常に防犯意識をもって暮らしていますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 常に意識をしている	162	32.4
2 どちらかといえば意識をしている	234	46.8
3 どちらかといえば意識をしていない	69	13.8
4 意識をしていない	35	7.0
全体	500	100

Q4. あなたは、どのような防犯対策をしていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 自宅にセンサーライトや補助錠を設置している	81	4.8
2 外出や就寝の際などには窓を必ず閉める	218	13.0
3 防犯ブザーを携行している	19	1.1
4 人気のない道や暗い日等を避けて歩く	243	14.5
5 自転車やオートバイなどに二つ以上の鍵を付けている	77	4.6
6 自転車やオートバイの防犯登録を行っている	104	6.2
7 自動車に防犯機器等を設置している	46	2.7
8 自動車内に手荷物を置かない	155	9.2
9 個人情報が含まれるごみを出さない	222	13.2
10 表札には姓のみを表示し、家族構成がわからないようにしている	143	8.5
11 郵便受けに鍵を付ける	100	6.0
12 カードの暗証番号やパソコン等のパスワードを定期的に変更している	73	4.3
13 ナンバーディスプレイや留守番電話機能が付いた電話機を利用	107	6.4
14 その他	4	0.2
15 特に何もしていない	88	5.2
全体	1680	100

Q5. あなたは、地域で行う防犯活動を行っていますか。
 (「防犯活動」とは、具体的な行動(防犯やパトロール)だけではなく、日常生活の中で防犯の意識を持って行動していることも含みます。なお、日常生活とは、犬の散歩や通勤・通学・買い物などの行動をいいます。)

	回答数 (n)	割合 (%)
1 行っている	74	14.8
2 行っていない	426	85.2
全体	500	100

《Q5で「行っている」と回答した方にお聞きします。》

Q6. 次のうち、あなたは、地域で行うどのような防犯活動に参加していますか。
あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

	回答数 (n)	割合 (%)
1 徒歩や自転車による防犯パトロール	21	15.4
2 犬の散歩に合わせたパトロール (わんわんパトロールなど)	17	12.5
3 ウォーキング・ランニングに合わせたパトロール	21	15.4
4 青色回転灯を装備した車両によるパトロール	9	6.6
5 見守り活動ステッカーなどを貼った車両によるパトロール	11	8.1
6 子ども110番の家や店による防犯活動	7	5.1
7 通学路などでの子どもの見守りや声かけ活動	10	7.4
8 暗がりや死角の多い地域の危険な場所を点検する活動	6	4.4
9 違法広告物の撤去や落書きの消去など、環境を整備する活動	2	1.5
10 防犯に関する情報を地域住民に周知・啓発する活動	9	6.6
11 上記のような具体的な活動はしていないが、日常生活の中で防犯の意識を持って行動している	22	16.2
12 その他	1	0.7
全体	136	100

Q7. あなたは、地域で行う防犯活動に興味がありますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 興味がある	192	38.4
2 興味がない	308	61.6
全体	500	100

Q8.	あなたは、どのような条件が整えば、地域で行う防犯活動に参加しやすくなると思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）		
		回答数 (n)	割合 (%)
1	好きな時間や参加頻度を選べる	188	14.7
2	休日だけでよい	42	3.3
3	参加の仕方がわかりやすい	160	12.5
4	活動に警察や札幌市の協力が得られる	94	7.3
5	地域で自分の希望する活動ができる	69	5.4
6	知り合い同士で参加できる	52	4.1
7	事前に講習会等が開かれる	53	4.1
8	危険な目に遭うことがない	92	7.2
9	お金がかからない	144	11.3
10	有償である	57	4.5
11	未経験・初参加でも参加しやすい	146	11.4
12	勤務中でも企業の理解があり参加できる	29	2.3
13	介護・保育など一時預かりができる	15	1.2
14	その他	3	0.2
15	参加しやすくなる条件はない	135	10.6
	全体	1279	100

Q9.	あなたは、個人で気軽に実施できる「ながら防犯」について知っていますか。 （「ながら防犯」とは、通勤や通学、買い物など日常活動の中で、防犯の視点を持って地域の見守りを行う活動をいいます。）		
		回答数 (n)	割合 (%)
1	知っている	57	11.4
2	知らない	443	88.6
	全体	500	100

Q10. 《Q9で「知っている」と回答した方にお聞きします。》
あなたは、「ながら防犯」を実施していますか。

		回答数 (n)	割合 (%)
1	よく実施している	19	33.3
2	時々、実施している	29	50.9
3	実施していない	9	15.8
	全体	57	100

《Q10で「よく実施している」「時々実施している」と回答した方にお聞きします。》
 Q11. あなたは、どのような「ながら防犯」を実施していますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数 (n)	割合 (%)
1 犬の散歩時の見守り	15	16.7
2 ウォーキング・ランニング中に見守り	24	26.7
3 通勤・通学・買い物しながらの見守り	26	28.9
4 仕事中的見守り	12	13.3
5 庭掃除や洗濯物を干しながらなど自宅に居ながらの見守り	13	14.4
6 その他	0	0.0
全体	90	100

ここからは犯罪被害者等への支援についてお聞きします。

あなたは、犯罪被害者等支援（※）について関心はありますか。
 Q12. （※「犯罪被害者等支援」とは、犯罪により被害を受けた本人やそのご家族・ご遺族が、安全に安心して暮らすための取組を指します。）

	回答数 (n)	割合 (%)
1 ある	42	8.4
2 どちらかといえばある	181	36.2
3 どちらかといえはない	165	33.0
4 ない	112	22.4
全体	500	100

《Q12で「ある」、「どちらかといえばある」と回答した方にお聞きします。》
 Q13. あなたが犯罪被害者等支援について関心がある理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

	回答数 (n)	割合 (%)
1 犯罪は誰もがいつ遭遇するかわからないから	163	38.8
2 身近に犯罪被害に遭った人がいるから	26	6.2
3 社会的な問題であるから	124	29.5
4 テレビ・新聞等で見聞きをするから	91	21.7
5 SNS (X、Facebook、LINE) で見聞きするから	15	3.6
6 その他	1	0.2
全体	420	100

あなたは、札幌市には、犯罪被害者やそのご家族への支援に関して、その基
 Q14. 本理念や具体的な施策等を定めた「札幌市犯罪被害者等支援条例」があるこ
 ことを知っていますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 知っている	50	10.0
2 知らない	450	90.0
全体	500	100

Q15. あなたは犯罪被害者等への支援は必要だと思いますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 思う	175	35.0
2 どちらかといえば思う	234	46.8
3 どちらかといえば思わない	53	10.6
4 思わない	38	7.6
全体	500	100

《Q15で「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した方にお聞きしま
 す。》
 Q16. 具体的に、どのような支援が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて
 お選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 犯罪被害者等に対する理解や支援を広げるための広報啓 発	160	10.5
2 相談や支援施策に関する情報提供を行う総合的窓口	161	10.6
3 民間支援団体の紹介	93	6.1
4 精神的なケアのための医療提供やカウンセリング	235	15.5
5 裁判などに関する手続きについての法律相談	185	12.2
6 犯罪被害者への給付や医療費の公費負担などの経済的な 支援	193	12.7
7 被害直後の一時避難場所の提供や市営住宅優先入居など 住宅に関する支援	146	9.6
8 失職や転職したことに対する就労支援	182	12.0
9 警察署・裁判所や医療機関などへの付き添い支援	116	7.6
10 その他	0	0.0
11 わからない	48	3.2
全体	1519	100

犯罪被害者等が犯罪による直接的な被害だけでなく、二次被害（周囲の者の
Q17. 配慮に欠ける言動や誹謗中傷、報道機関による取材・報道等）にも苦しめら
れていることについて、あなたはどの程度認識していますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 十分認識している	63	12.6
2 ある程度認識している	240	48.0
3 あまり認識していない	143	28.6
4 全く認識していない	54	10.8
全体	500	100

ここからは防犯カメラについてお聞きします。

あなたは、あなたが居住する地域の公共の場所（道路、公園などの不特定多
Q18. 数の人が利用する場所）に、防犯カメラを設置して欲しいと思いますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 思う	184	36.8
2 どちらかといえば思う	232	46.4
3 どちらかといえば思わない	53	10.6
4 思わない	31	6.2
全体	500	100

《Q18で「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した方にお聞きしま
す。》
Q19. 防犯カメラを設置して欲しいと思った理由は何ですか。あてはまるものをす
べてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 設置してあると、犯罪の抑止に繋がると思うから	325	37.2
2 設置してあると、見守られている気持ちになるから	133	15.2
3 設置してあると、地域の防犯意識が高まると思うから	173	19.8
4 防犯カメラの映像が、犯罪の早期解決に繋がると思うか ら	240	27.5
5 その他	2	0.2
全体	873	100

ここからは、犯罪をした人の再犯防止や立ち直りについてお聞きします。

あなたは、これらの再犯防止等に関する用語のうち、その内容を知っている
Q20. ものはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 更生保護	163	15.6
2 保護観察所	180	17.2
3 協力雇用主	88	8.4
4 保護司	210	20.1
5 社会を明るくする運動	37	3.5
6 再犯の防止等の推進に関する法律	48	4.6
7 更生保護施設	172	16.4
8 この中に知っているものはない	148	14.1
全体	1046	100

《Q20で、ひとつでも知っている用語があるとを回答した方にお聞きします。》
 Q21. あなたは、Q20で回答した用語をどのように知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 テレビ	251	39.2
2 ラジオ	17	2.7
3 町内会などの地域活動	25	3.9
4 職場	22	3.4
5 インターネット (各種ホームページ)	77	12.0
6 SNS (X、Facebook、LINEなど)	36	5.6
7 新聞	91	14.2
8 チラシ・リーフレット・ポスター	26	4.1
9 家族	11	1.7
10 友人・知人	14	2.2
11 講演会・シンポジウム・フォーラム	11	1.7
12 街頭啓発	8	1.2
13 その他	10	1.6
14 覚えていない	42	6.6
全体	641	100

Q22. あなたは、犯罪をした人 (※) の立ち直りに協力したことがありますか。
 (※「犯罪をした人」には、非行のある少年を含みます。)

	回答数 (n)	割合 (%)
1 ある	30	6.0
2 ない	470	94.0
全体	500	100

《Q22で「ある」と回答した方にお聞きします。》
 Q23. あなたはどのような協力をしたことがありますか。あてはまるものをすべて
 お選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 犯罪をした人たちに継続的に助言や援助をしたことがある	18	34.0
2 所属する団体で、協力雇用主として、犯罪をした人たちを雇用したことがある	12	22.6
3 所属する団体で、犯罪をした人たちの住居の斡旋をしたことがある	12	22.6
4 更生保護施設等にお金や品物などを寄付したことがある	3	5.7
5 再犯防止に関するボランティアに参加したことがある	6	11.3
6 その他	2	3.8
全体	53	100

Q24. あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 思う	16	3.2
2 どちらかといえば思う	100	20.0
3 どちらかといえば思わない	196	39.2
4 思わない	188	37.6
全体	500	100

《Q24で「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した方にお聞きします。》
 Q25. あなたはどのような協力をしたいと思いますか。あてはまるものをすべてお
 選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 犯罪をした人たちに継続的に助言や援助をしたい	42	27.8
2 所属する団体で、協力雇用主として、犯罪をした人たちを雇用したい	22	14.6
3 所属する団体で、犯罪をした人たちの住居の斡旋をしたい	18	11.9
4 更生保護施設等にお金や品物などを寄付したい	22	14.6

5 再犯防止に関するボランティアに参加したい	36	23.8
6 その他	11	7.3
全体	151	100

Q26. 《Q24で「どちらかといえば思わない」、「思わない」と回答した方にお聞きします。》
 あなたが立ち直りに協力したくないと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 どのように接すればいいわからない	152	20.9
2 協力の方法がわからない	72	9.9
3 犯罪に巻き込まれそうで怖い	109	15.0
4 犯罪をした人たちに関わりたくない	127	17.4
5 家族に反対される	28	3.8
6 犯罪をした人たちの背景・原因が分からない	72	9.9
7 活動に参加する時間がとれない	36	4.9
8 犯罪をした人たちに支援などをすべきではないから	30	4.1
9 その他	11	1.5
10 考えたことがない	92	12.6
全体	729	100

Q27. あなたは、犯罪をした人の立ち直りのために、どのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数(n)	割合(%)
1 ビジネスマナーや資格・技術の習得など、仕事に就くための支援を行う	139	12.9
2 住む場所を確保するための支援を行う	147	13.7
3 高齢者や障がい者等に必要な福祉サービスを提供する	78	7.3
4 生活に困窮している者へ、自立に向けた福祉的支援を行う	135	12.6
5 自立を支援するNPO法人や更生保護施設などに支援を行う	123	11.4
6 復学や進学など、学びの継続に向けた支援を行う	71	6.6
7 行政機関や民間団体などの支援ネットワークを作る	59	5.5
8 市民に対し、再犯防止について広報・啓発活動を行う	66	6.1

9 行政機関や民間団体などで雇用を行う	68	6.3
10 その他	5	0.5
11 わからない	105	9.8
12 取組は必要ない	79	7.3
全体	1075	100

ここからはその他の防犯意識についてお聞きします。

Q28. あなたは、札幌市中心部が安全に安心して通行し、又は利用することができる環境だと思いますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 そう思う	38	7.6
2 どちらかといえばそう思う	272	54.4
3 あまりそう思わない	147	29.4
4 そう思わない	43	8.6
全体	500	100

Q29. あなたは、札幌市には、「客引き・勧誘（スカウト）」（※）を禁止する「札幌市客引き行為等の防止に関する条例」があることを知っていますか。（※「客引き・勧誘（スカウト）」とは、通行中の者等の中から相手方を特定し、客となるよう誘ったり、役務に従事するよう勧誘する行為を指します。）

	回答数 (n)	割合 (%)
1 知っている	306	61.2
2 知らない	194	38.8
全体	500	100

Q30. あなたは、直近1年間で、札幌市中心部にて「客引き・勧誘（スカウト）」を受けたり、見たりしたことがありますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 ある	113	22.6
2 ない	387	77.4
全体	500	100

Q31. あなたは、「客引き・勧誘（スカウト）」について、どのような印象をもっていますか。

	回答数 (n)	割合 (%)
--	---------	--------

1 好ましい	8	1.6
2 どちらかという为好ましい	16	3.2
3 どちらかという为好ましくない	69	13.8
4 好ましくない	342	68.4
5 特に何も思わない	65	13.0
全体	500	100

Q32. 《Q31で「どちらかという为好ましくない」、「好ましくない」と回答した方にお聞きします。》
 あなたが、「客引き・勧誘（スカウト）」を好ましくないと感じた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 通行の妨げになるから	181	15.6
2 複数人で待ち構えており、怖いと感じるから	186	16.1
3 声を掛けられることが不快だから	216	18.7
4 客引きや勧誘（スカウト）をする人がいると、安心して通行できないから	177	15.3
5 ぼったくりに遭う可能性があるから	234	20.2
6 札幌市の景観やイメージを悪化させるから	157	13.6
7 その他	6	0.5
全体	1157	100

フェイス項目

Q33. あなたの性別を教えてください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 男性	250	50.0
2 女性	250	50.0
全体	500	100

Q34. あなたの年代を教えてください。

	回答数 (n)	割合 (%)
1 19歳以下	20	4.0
2 20-29歳	30	6.0
3 30-39歳	100	20.0
4 40-49歳	100	20.0

5	50-59歳	100	20.0
6	60-69歳	100	20.0
7	70歳以上	50	10.0
	全体	500	100

Q35. あなたの職業を教えてください。

	回答数 (n)	割合 (%)	
1	会社員・公務員・団体職員	195	39.0
2	自営業	21	4.2
3	パート・アルバイト	69	13.8
4	専業主婦・主夫	63	12.6
5	学生	20	4.0
6	無職	97	19.4
7	その他	35	7.0
	全体	500	100